

55t  
あきんど  
攻める商人！ 繋がる商人！

●第147回(平成27年度第4回)●

# 中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成28年 1月～ 3月・報告

平成28年 4月～ 6月・予想



次の100年も  
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会



## 目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較・・・図1	
県内産業別の業況D I 推移を比較・・・図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・図3
売上額(加工高)の状況	・・・図4
採算(経常利益)の状況	・・・図5
設備投資の状況	・・・図6
経営上の問題点の状況	・・・図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・図9
採算(経常利益)の状況	・・・図10
設備投資の状況	・・・図11
経営上の問題点の状況	・・・図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・図13
売上額の状況	・・・図14
採算(経常利益)の状況	・・・図15
設備投資の状況	・・・図16
経営上の問題点の状況	・・・図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・図18
売上額(収入高)の状況	・・・図19
採算(経常利益)の状況	・・・図20
設備投資の状況	・・・図21
経営上の問題点の状況	・・・図22
6. 調査対象事業所の内容	16

### ○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がり示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。

## 〔 調 査 要 領 〕

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況等や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

矢板市・下野市・うつのみや市・西方・芳賀町  
壬生町・野木町・氏家・那珂川町・西那須野

### ○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：150企業（回答率100.0%）

### ○調査時点

平成28年3月1日

### ○調査対象期間

平成28年1月～3月期の実績及び、平成28年4月～6月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

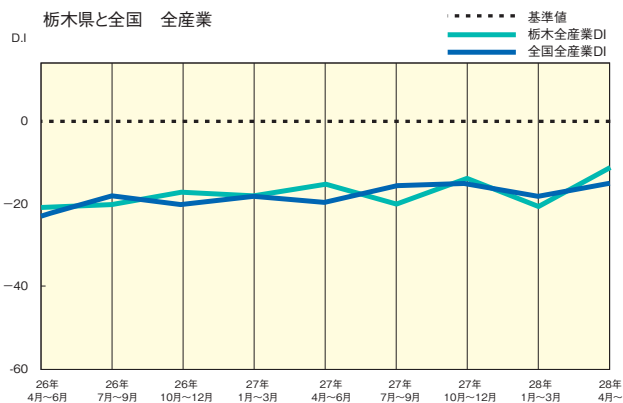
### ○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	30	20.0
建 設 業	21	14.0
小 売 業	40	26.7
サ ー ビ ス 業	59	39.3
合 計	150	100.0

# 1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「県内・全国とも悪化傾向、来期は改善予想」  
(前期比) 図 1



今期の業況を全国でみると、D I 値は $-3.0^{\circ}$  イント ( $-15.1^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-18.1^{\circ}$  イント) と前期より悪化したが、来期の見通しは $+3.2^{\circ}$  イント ( $-18.1^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-14.9^{\circ}$  イント) の改善を予想している。

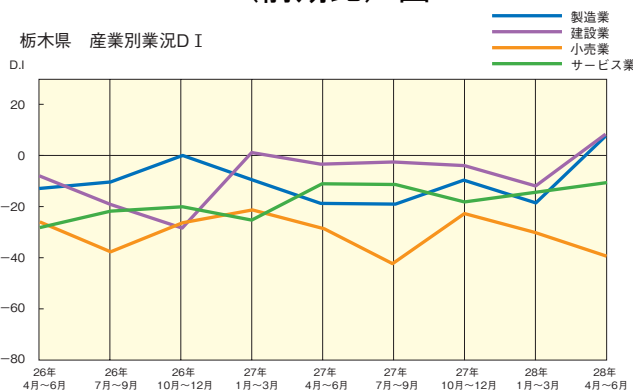
栃木県内の業況D I も、 $-6.8^{\circ}$  イント ( $-14.1^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-20.9^{\circ}$  イント) と悪化したが、来期予想は $+9.3^{\circ}$  イント ( $-20.9^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-11.6^{\circ}$  イント) の改善を予想している。

全国・県内とも、今期は悪化傾向で推移したが、来期は改善すると予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれの調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「製造業・建設業・小売業が大幅な下降、来期は上向きの予想」  
(前期比) 図 2



前期より「製造業」が $-8.1^{\circ}$  イント ( $-9.6^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-17.7^{\circ}$  イント)、「建設業」が $-8.9^{\circ}$  イント ( $-3.6^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-12.5^{\circ}$  イント)「小売業」が $-7.5^{\circ}$  イント ( $-23.9^{\circ}$  イント $\rightarrow$  $-31.4^{\circ}$  イント) と大幅な下降となった。

来期は「製造業」、「建設業」については上向きの予想であるが「小売業」は $-9.0^{\circ}$  イントの悪化を予想している。

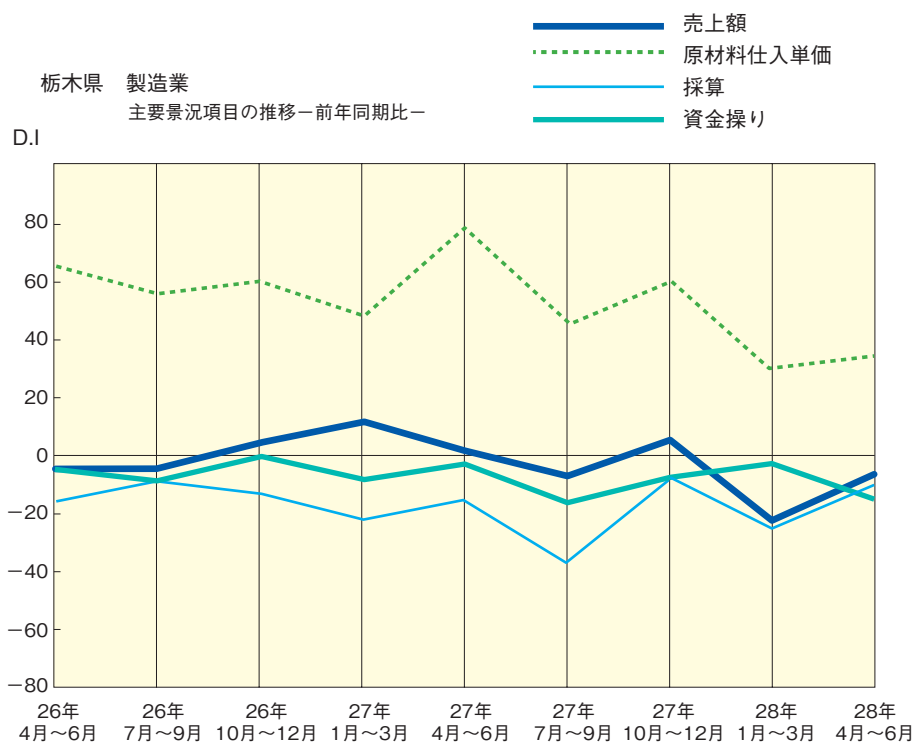
「サービス業」は今期、 $2.3^{\circ}$  イントの上昇となり、来期も $2.3^{\circ}$  イントの上昇を予想している。

## 2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額・採算が大幅悪化するも、来期は改善を予想」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



今期は、前期に比べて「売上額」が $-30.1$ ポイント（ $6.7$ ポイント $\rightarrow -23.4$ ポイント）、「採算」 $-20.0$ ポイント（ $-6.7$ ポイント $\rightarrow -26.7$ ポイント）と大幅に悪化しているが、来期は「売上額」が $16.5$ ポイント、「採算」が $16.3$ ポイントの改善を予想している。

「資金繰り」は、 $3.2$ ポイント（ $-6.6$ ポイント $\rightarrow -3.4$ ポイント）の改善となっているが、来期は $10.9$ ポイント（ $-3.4$ ポイント $\rightarrow -14.3$ ポイント）の悪化を予想している。

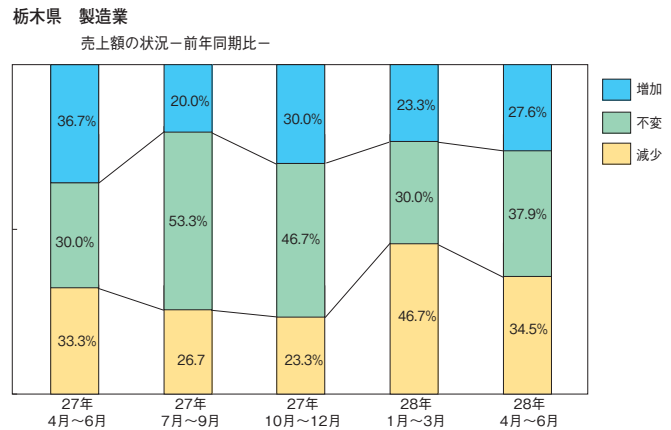
また、「原材料仕入単価」は、 $29.7$ ポイント（ $59.3$ ポイント $\rightarrow 29.6$ ポイント）の大幅な下降となっているが、来期の予想では、 $5.0$ ポイント（ $29.6$ ポイント $\rightarrow 34.6$ ポイント）の上昇を予想している。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳は、増加企業が6.7% (30.0%→23.3%) 減少し、減少企業が23.4% (23.3%→46.7%) 増加したため、D I 値は-23.4ポイントとなった。

来期の見通しは、売上増加と予想する企業が今期より4.3% (23.3%→27.6%) 増加し、減少を予想する企業が12.2% (46.7%→34.5%) 減少するため、D I 値は-6.9ポイントと、16.5ポイントの上昇を予想している。

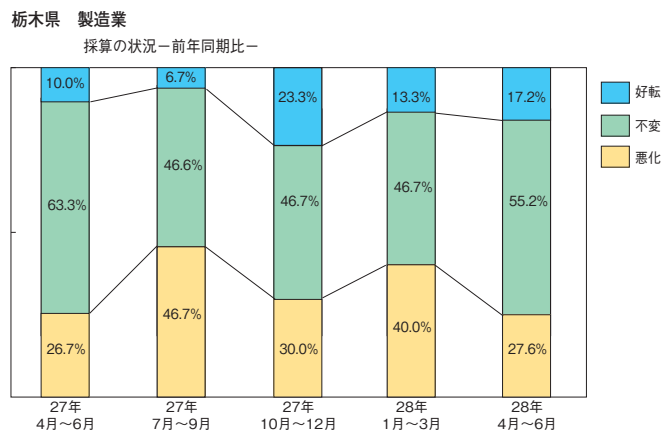


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が10%減少し、悪化企業が10%増加したため、D I 値は-26.7ポイントと、前期(-6.7ポイント)より大幅な下降となった。

また、来期の見通しは、不変を予想する企業が8.5%増加し、悪化を予想する企業が12.4%減少するため、D I 値は-10.4ポイントとなり、16.3ポイントの上昇を予想している。

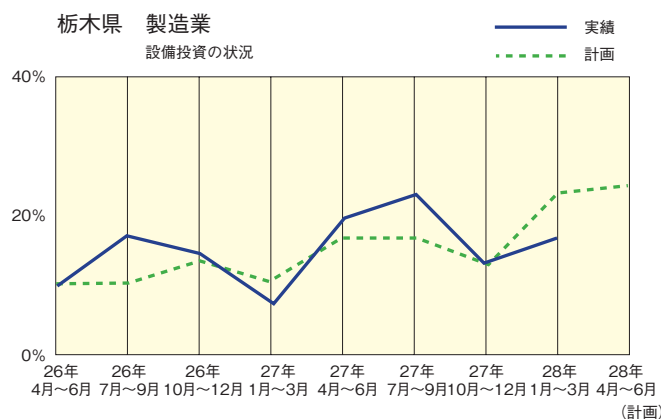


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図6

今期の設備投資の実績状況は、計画していた企業割合が23.3%に対し、実績は16.7%と計画を下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期より0.8%微増し24.1%となっている。

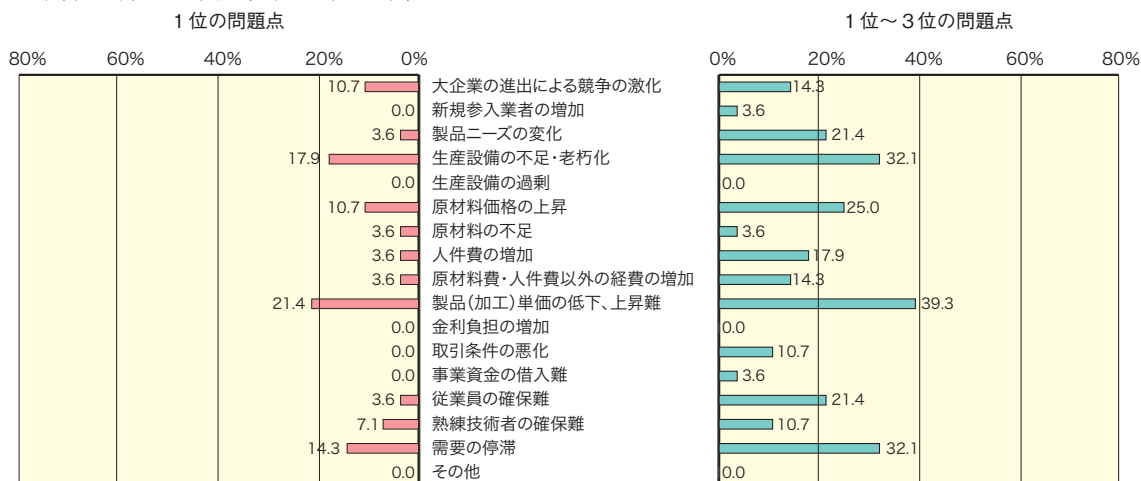


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図7

栃木県 製造業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点を見ると、「製品（加工）単価の低下、上昇難」（21.4%）が最も多く、次いで「生産設備の不足・老朽化」（17.9%）、「需要の停滞」（14.3%）となっている。

1位～3位の問題点では、前述の他「製品ニーズの変化」、「原材料価格の上昇」、「従業員の確保難」が伸びており、課題が多いことを示した。

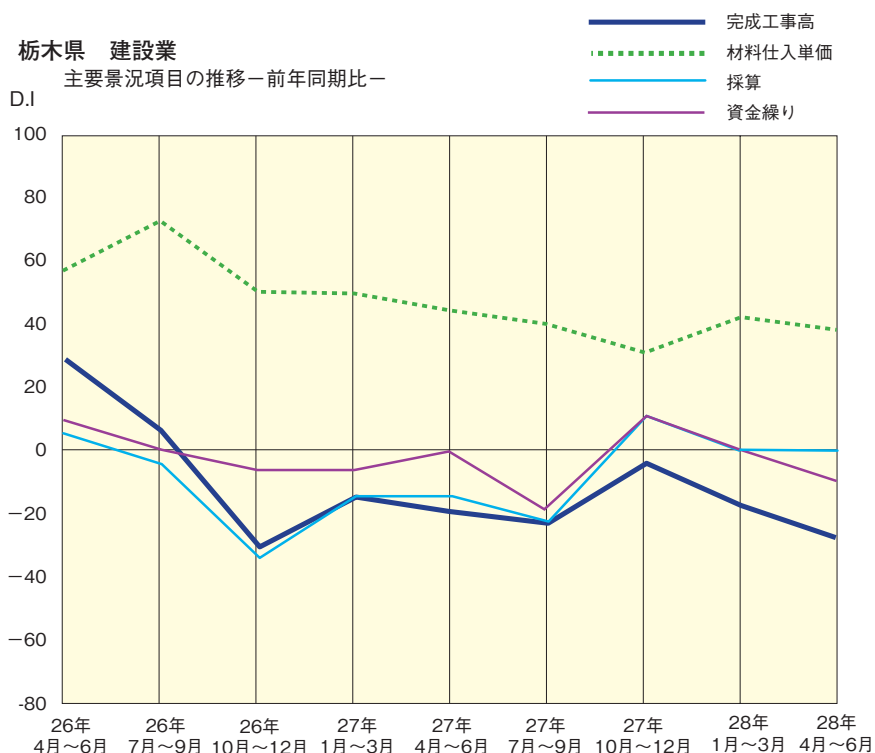


### 3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「各項目で大幅な悪化、来期も悪化が続くと予想」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額（完成工事高）」が、前期比－14.3ポイント（－4.8ポイント→－19.1ポイント）減少し、「材料仕入単価」も、前期比＋14.2ポイント（28.6ポイント→42.8ポイント）と大幅に上昇した。

「採算」は、前期比－9.5ポイント（9.5ポイント→0.0ポイント）「資金繰り」は、前期比－9.6ポイント（9.6ポイント→0.0ポイント）の悪化となった。

また、来期の見通しは、「売上額（完成工事高）」「資金繰り」の2項目で、今期に続き9.5ポイントの悪化を予想している。

「材料仕入単価」については前期比－4.7ポイント（42.8ポイント→38.1ポイント）となり、来期は小幅な下降を予想している。

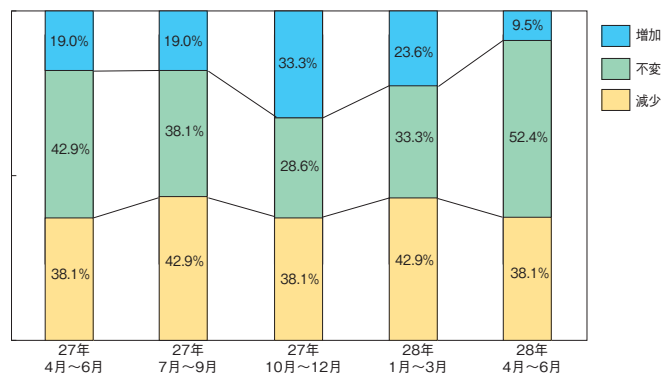
—売上額(完成工事高)—

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、増加企業が9.5% (33.3%→23.8%) 減少し、減少企業が4.8% (38.1%→42.9%) 増加したため、D I 値は-19.1ポイントと、前期に比べ、14.3ポイント下降した。

来期の見通しでは、増加を予想する企業が14.3% (23.8%→9.5%) 減少し、不変とする企業が19.1% (33.3%→52.4%) 増加するため、D I 値は-28.6ポイントの予想となっている。

栃木県 建設業



—採算(経常利益)—

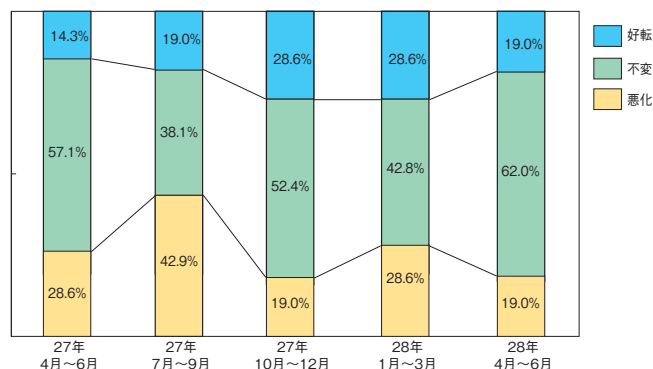
採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期は、好転企業が前期と変わらず28.6%だったものの、悪化企業が9.6% (19.0%→28.6%) 増加したため、D I 値は0.0ポイントとなった。

来期の見通しは、好転企業・悪化企業が共に19.0%に減少し、不変企業が19.2% (42.8%→62.0%) の大幅な増加をするため、D I 値は今期と同じ0.0ポイントを予想している。

栃木県 建設業

採算の状況-前年同期比-

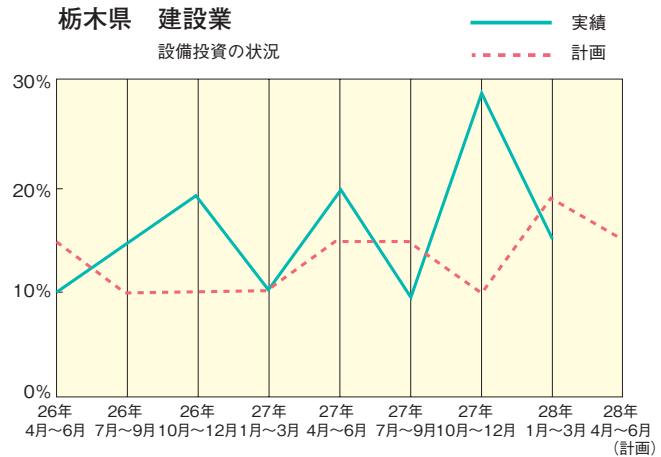


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が19.0%に対して、実績は14.3%と計画を下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、14.3%と今期計画より4.7%の減少となっている。

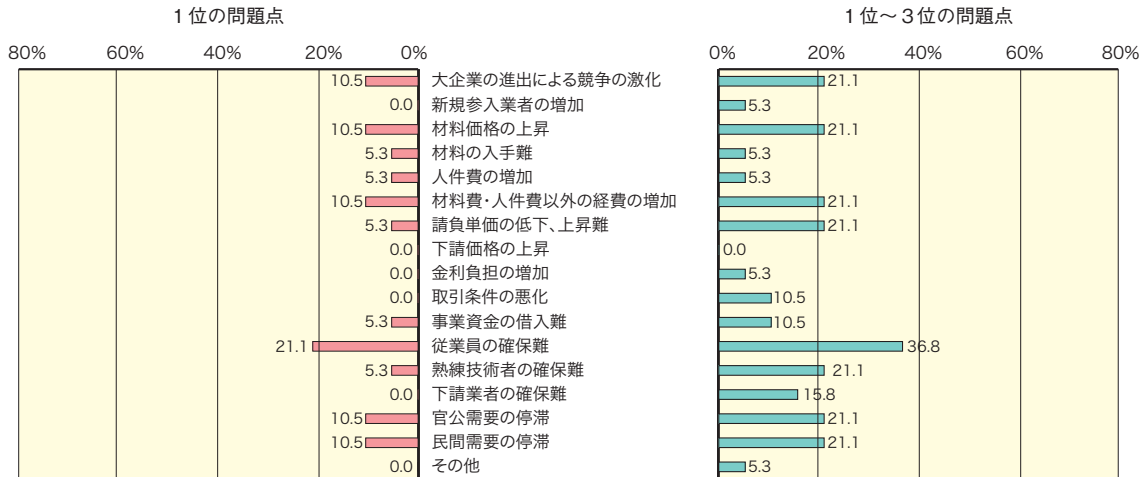


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、「従業員の確保難」(21.1%)が挙げられており、次いで「大企業の進出による競争の激化」、「材料価格の上昇」、「材料費・人件費以外の経費の増加」(10.5%)等が挙げられている。

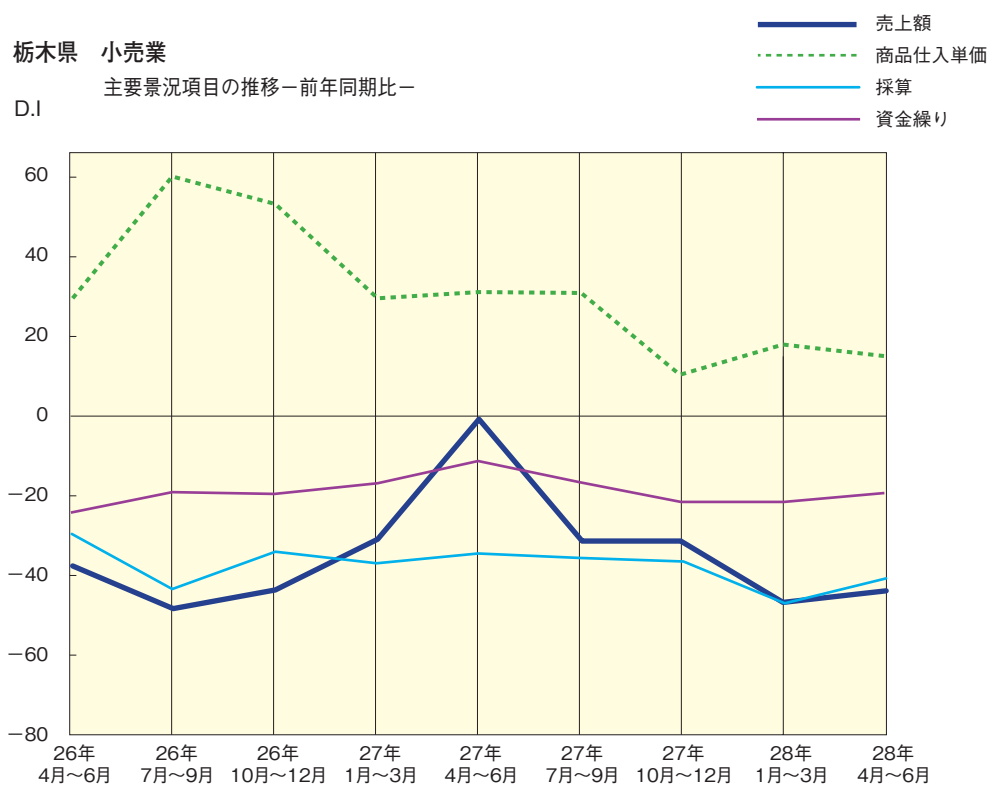
1位～3位の問題点では、上記の他、「熟練技術者の確保難」「請負単価の低下、上昇難」「官公需要の停滞」「民間需要の停滞」(21.1%)が高い値で挙げられている。

## 4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「各項目で悪化傾向、来期は小幅な改善を予想」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「売上高」が前期比 $-15.0$ ポイント（ $-32.5$ ポイント $\rightarrow$  $-47.5$ ポイント）、「採算」も前期比 $-12.5$ ポイント（ $-35.0$ ポイント $\rightarrow$  $-47.5$ ポイント）と大幅な悪化となり、「資金繰り」は横這いとなっている。

「商品仕入単価」は、前期比 $7.5$ ポイント（ $10.0$ ポイント $\rightarrow$  $17.5$ ポイント）上昇したが、来期は $-2.5$ ポイントの下降を予想している。

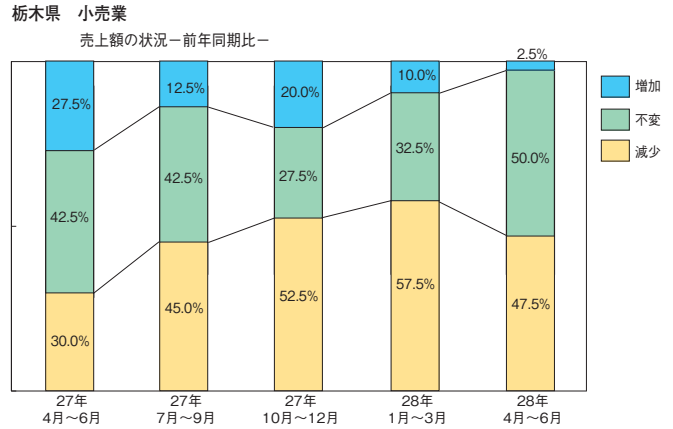
来期は小幅な改善を予想しているが、依然として低い水準が見込まれている。

－売上額－

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、売上額が増加したとする企業が10.0%、減少企業が57.5%となった。その為、D I 値は過去4期中最低の-47.5%となった。

来期の見通しは、売上増加を予想する企業が2.5%に減少するが、不変とした企業が50.0%と大幅に増加するため、D I 値は2.5ポイント（-47.5ポイント→-45.0ポイント）の小幅な上昇を予想している。

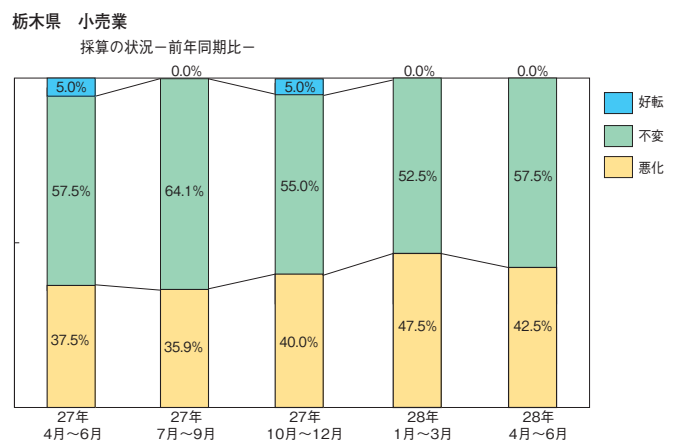


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が0.0%、悪化企業が47.5%で、D I 値は-47.5ポイントと、前期（-35.0ポイント）に比べ12.5ポイントの大幅な下降となり依然として厳しい状況にある。

来期の見通しは、好転企業が0.0%と同値ではあるものの、悪化を予想する企業が減少するため、D I 値は-42.5ポイントとなるが依然厳しい状況が予想される。

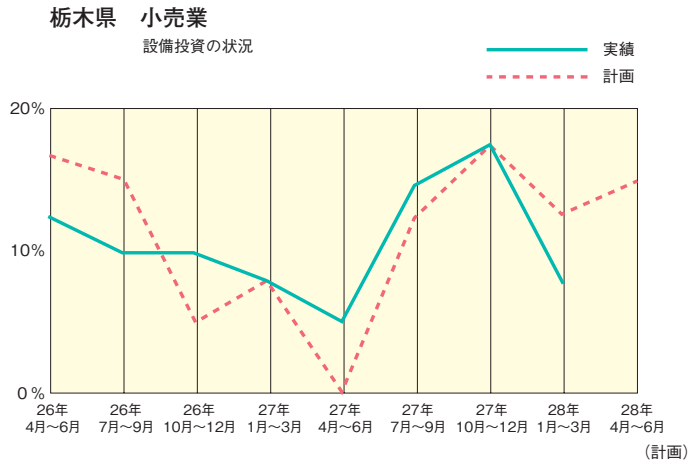


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業12.5%に対し、実績は7.5%と、計画より減少する結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期より増え、2.5%（12.5%→15.0%）の増加を予想している。

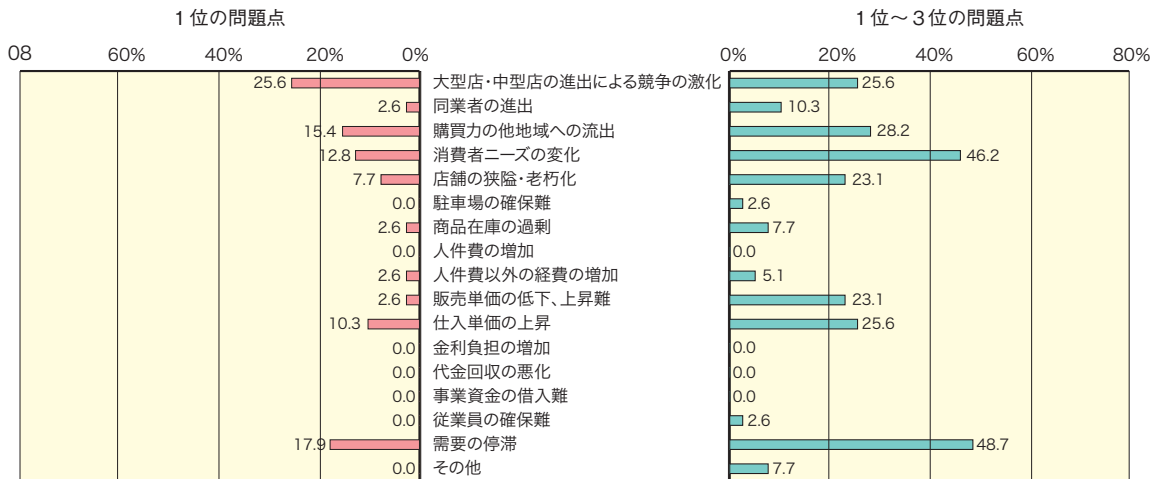


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



1位の問題点では、「大型店・中型店の進出による競争の激化」（25.6%）、「需要の停滞」（17.9%）、「購買力の他地域への流出」（15.4%）等が挙げられている。

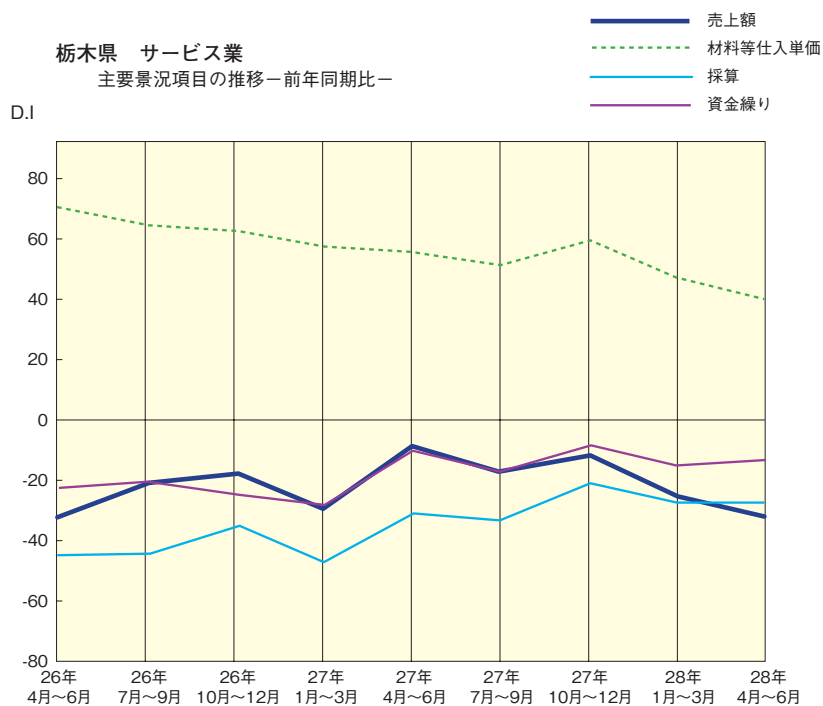
1位～3位の問題点では、「需要の停滞」（48.7%）、「消費者ニーズの変化」（46.2%）、「購買力の他地域への流出」（28.2%）が挙げられている。

## 5. サービス業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額が大幅減少、来期は一部小幅な改善を予想」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比） 図18



「売上額」が前期比 $-13.6$ ポイント（ $-11.9$ ポイント $\rightarrow$  $-25.5$ ポイント）悪化し、「採算」前期比 $-6.9$ ポイント（ $-20.7$ ポイント $\rightarrow$  $-27.6$ ポイント）「資金繰り」前期比 $-6.7$ ポイント（ $-8.5$ ポイント $\rightarrow$  $-15.2$ ポイント）と下降している。「材料等仕入単価」は、 $-10.2$ ポイント（ $57.6$ ポイント $\rightarrow$  $47.4$ ポイント）と大幅な回復となった。

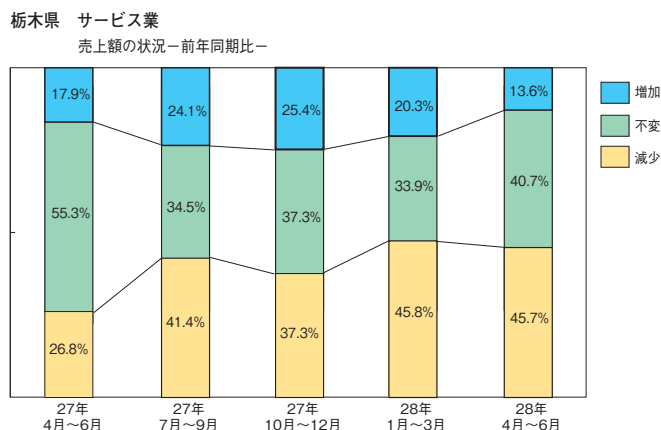
来期は、引き続き「材料等仕入単価」が $-6.8$ ポイント改善し、「資金繰り」 $1.4$ ポイント（ $-15.2$ ポイント $\rightarrow$  $-13.8$ ポイント）、「採算」 $0.5$ ポイント（ $-27.6$ ポイント $\rightarrow$  $-27.1$ ポイント）と小幅な改善を予想しているが、「売上額」は $-6.6$ ポイント（ $-11.9$ ポイント $\rightarrow$  $-18.6$ ポイント）と2期連続で減少を予想している。

## —売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期売上額のD I値の内訳を見ると、増加企業が20.3%と前期に比べ減少し、減少企業が45.8%に増加した為、D I値は-25.5ポイントとなり、前期より13.6ポイント(-11.9ポイント→-25.5ポイント)下降了。

来期の見通しについては、増加を予想する企業が13.6%に減少し、不変を予想する企業が増加するため、D I値は-32.1ポイントと、大幅な下降を予想している。

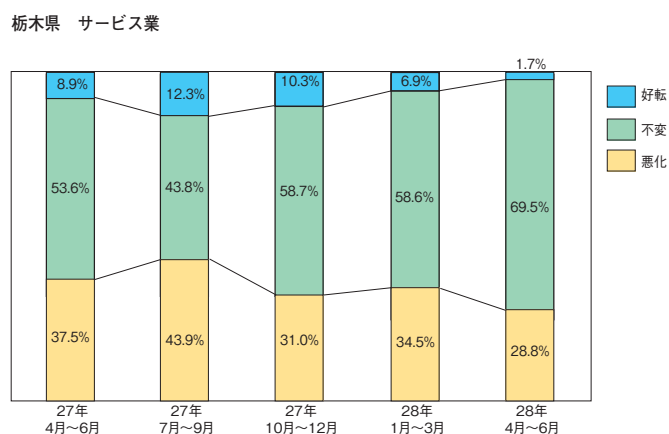


## —採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I値の内訳を見ると、好転企業が6.9%に減少し、悪化企業が34.5%に増加したため、D I値は、-27.6ポイントとなり、前期に比べ6.9ポイント下降了。

来期の見通しは、好転を予想する企業が1.7%とさらに減少する予想であるが、不変を予想する企業が58.6%から69.5%と増加するため、D I値は-27.1ポイントと予想している。



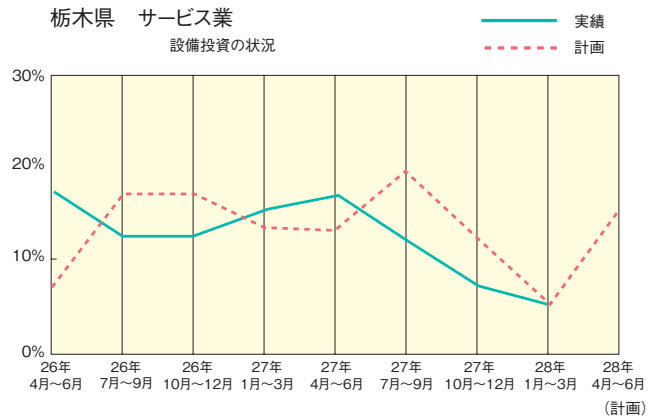


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合5.1%に対し、実施企業は5.1%となり、計画通りの結果となった。

来期に設備投資を計画している企業が15.3%と、前期に比べ10.2%の大幅な増加となっている。

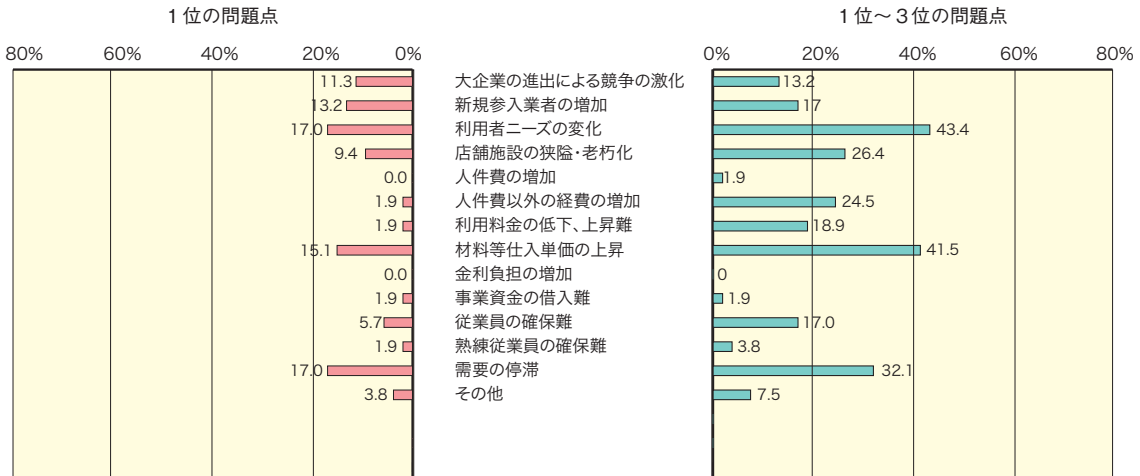


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22

栃木県 サービス業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、「利用者ニーズの変化」、「需要の停滞」が共に17.0%でトップに挙げられ、次いで「材料等仕入単価の上昇」が15.1%となり、前期と順位は変わったものの同じ問題が挙げられている。1位～3位の問題点でも「利用者ニーズの変化」が43.4%、「材料等仕入単価の上昇」が41.5%と1位の問題点と同じ問題点が挙げられている。

## 6. 調査対象事業所の内容

### 〈製造業〉

#### 業種別内訳 30事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	6	20.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	0	0.0
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.3
木材・木製品製造業	0	0.0
家具・装備品製造業	1	3.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	2	6.7
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	1	3.3
窯業・土石製品製造業	1	3.3
金属製品製造業	3	10.0
一般機械器具製造業	1	3.3
電気機械器具製造業	1	3.3
輸送用機械器具製造業	4	13.3
精密機械器具製造業	1	3.3
その他の製造業	7	23.3

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	13	43.3
3人以上～5人以下	7	23.3
6人以上～10人以下	5	16.7
11人以上～20人以下	3	10.0
21人以上～50人以下	1	3.3
51人以上～100人以下	0	0.0
101人以上	1	3.3

### 〈建設業〉

#### 業種別内訳 21事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	11	52.4
職別工事業	7	33.3
設備工事業	3	14.3

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	9	42.9
3人以上～5人以下	6	28.6
6人以上～10人以下	4	19.0
11人以上～20人以下	1	4.8
21人以上～50人以下	1	4.8
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

### 〈小売業〉

#### 業種別内訳 40事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	1	2.5
織物・衣服・身の回り品小売業	5	12.5
飲食料品小売業	14	35.0
自動車・自転車小売業	3	7.5
家具・建具・じゅう器小売業	3	7.5
その他小売業	14	35.0

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	82.5
3人以上～5人以下	7	17.5
6人以上～10人以下	0	0.0
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

### 〈サービス業〉

#### 業種別内訳 59事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	23	39.0
宿泊業	2	3.4
運輸業	2	3.4
自動車整備業	5	8.5
洗濯・理美容業	15	25.4
その他サービス業	12	20.3

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	44	74.6
3人以上～5人以下	13	22.0
6人以上～10人以下	2	3.4
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0



---

第 1 4 7 回中小企業景況調査報告書

---

平成 2 8 年 1 月～ 3 月期報告

平成 2 8 年 4 月～ 6 月期予想

編集：栃木県商工会連合会 顔晴る企業応援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印刷所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷

---